

平成21年12月5日

全国高体連自転車競技専門部

技術審判部会長 福田 俊彦

事務局長 中村 雅章

平成23年度全国高校総体自転車競技大会会場地視察について（報告）

- 1 期間 平成21年10月16日（金）～17日（土）
- 2 場所 10月16日 トラック 秋田県美郷町六郷自転車競技場  
開会式会場 仙南公民館  
10月17日 ロード 仙北市田沢湖周回道路  
閉会式会場 スキーセンター「レラ」及び  
田沢湖スポーツセンター体育館
- 3 出席者 16日 美郷町社会教育課 課長 泉谷 隆雄  
同 スポーツ振興班 班長 梅山 正之  
秋田県教育庁保健体育課実行委員会事務局  
秋田県インターハイ準備班 班長 石井 広  
同 主任指導主事 佐藤 信英  
秋田県自転車競技連盟 理事長 伊藤 光雄  
秋田県高体連自転車教専門部 委員長 堀部 洋一  
同 副委員長 齋藤 祐一郎  
  
17日 仙北市生涯学習課 課長 佐藤 淳  
同 課長補佐 草薨 正勝  
秋田県教育庁保健体育課実行委員会事務局  
秋田県インターハイ準備班 主査 佐藤 幸嗣  
同 主任指導主事 佐藤 信英  
秋田県自転車競技連盟 理事長 伊藤 光雄  
秋田県高体連自転車教専門部 委員長 堀部 洋一  
同 副委員長 齋藤 祐一郎
- 4 概要  
16日 14時～ トラック競技会場視察  
15時～ 監督会議・開会式会場視察  
16時～ 視察会議  
17日 10時～ ロード会場田沢湖周回道路・田沢湖高原視察  
11時30分～ 閉会式会場視察 スポーツセンター「レラ」及び  
田沢湖スポーツセンター体育館  
12時～ 視察会議
- 5 視察結果（詳細は、別資料を参照）  
◎トラック会場について  
(1)インターハイの日程 8月8日(月) 監督会議・開会式  
9日(火)～11日(木) トラック  
12日(金) ロード  
日程設定理由 8月3日～6日 秋田竿灯祭り、8月2日～7日 青森ねぶた祭り

- (2) 基本的には、平成 19 年度わか杉国体と同様に実施する。
- (3) 選手村は、バンク後ろにテントを設営する。各県一張りとする。  
選手村に向けてスピーカを設置する。
- (4) 自転車の保管は、隣接するトレーニングセンターろくごうの体育館とする。  
600 台収容可能。予算の都合で警備員を配置しない予定だが、配置を要請した。
- (5) バンクアンダーに、ローラー練習台を 20 台設置する。
- (6) ホーム・バックのグリーンに、次走選手用の控えテントを設置する。
- (7) 決勝審判台は、国体時に使用した屋根付きのものを設置する。
- (8) コーナージャッジ台は、設置しない。
- (9) 電子計時装置は、バンク内にあるものを使用する。
- (10) 表彰式は、バンク手前右のテントとしていたが、雨天時以外は、バンク内での表彰式を希望した。要検討
- (11) 期間中、看護師 2 名を待機させる。救急車は、救急要請して 5 分で到着。  
病院までの搬送は遅くとも 15 分なので、医師なしでも問題はない。
- (12) リザルトのコピーサービスは、希望者のみとし、基本的には、HP にアップする。
- (13) 旧自転車競技場(500m)は、入り口にバリケードを設置し使用禁止とする。

#### ◎監督会議・開会式会場について

- (1) 国道 13 号線に開会式会場の案内看板を設置する。
- (2) トラック会場から開会式会場まで 10 分弱である。
- (3) 駐車スペースは、420 台分ある。
- (4) 開会式会場は仙南公民館大ホール。固定席 400 席。  
ステージ前にパイプ椅子追加(3 列×25 席)、客席中央部に(1 列×25 席)  
計 500 席。監督及び観客は立ち席となる。
- (5) 監督会議は、仙南交流センタ 2 階多目的ホールとする。テーブルなしの椅子席。  
監督会議は、120 名。 全国委員長会議は、50 名くらい。

#### ◎ロード会場について

- (1) 田沢湖 1 周 21.8km×5 周=109km (1 週の所要時間は約 35 分)  
田沢湖からフィニッシュ地点まで 8km 合計 117km  
高低差 田沢湖周回中 48m 田沢湖からフィニッシュ地点まで 326m
- (2) 湖の周りを 5 周回後、湖から離れ、国道を横切った後、登坂になる。
- (3) スタート位置を、現地案から変更。周回コースのほうに移動。
- (4) フィニッシュ地点も、現地案から変更。フィニッシュ地点は切り切ったところ  
あるため、長い(200m以上)直線はとれない。
- (5) スタート・フィニッシュ地点に、それぞれ横断幕を設置してもらう。設置方法は  
地元で要検討。
- (6) スタート地点に、テント要望。サインシート用 2 張、検車用 1 張、本部用 1 張
- (7) スタート地点の向かいは、競技役員の駐車場(公営)とする。
- (8) 地元市長から一般観光客・住民に支障がないように、6 時スタートを要請された  
が、選手の健康管理と円滑な大会運営のため、8 時スタートを希望。要検討。
- (9) 第 1、第 2 関門で、8 位集団から 5 分遅れをカットする。最終周回も同様。
- (10) 御座石神社手前の中央分離帯の措置について。200m、100m 手前に看板設置する  
とともに、競技役員からハンドマイクで指示させる。50m 手前から分離帯までカ  
ラーコーンを設置する。
- (11) 「たつこ像」付近は、多くの観光客が予想されるので、車道と歩道間にカラー  
コーン設置する。
- (12) 第 2 関門(たつこ像付近)の所に停留所がある。競技予定時間内の 9:35 発、御  
座の石神社経由田沢湖駅行の逆走の路線バスがある。今後バス会社と交渉する。
- (13) 「大沢ヨットハーバー」過ぎに、補給区間を設置する。補給員はバスで輸送する。

補給は左側に限る。

- (14) 「田子の木」付近の左急カーブに看板を設置する。
- (15) フィニッシュ地点に、カラーコーン 50 個を設置しゴール後の選手を誘導する。
- (16) フィニッシュ地点の下にある駐車場を、選手団駐車場とする。
- (17) 一般の立哨員は、マラソン大会の関係者に依頼する。また、交通指導員、高校生(一人一役運動の一環)にも、依頼する。
- (18) 立哨員については、事前に説明会を行う。
- (19) 審判車両 (COM1, 2, 3) は 3 台を要請。スレートバイク 2 台を含め、バイクは 8 台要請した。
- (20) 公式アナウンサーを依頼するかどうか。要検討。
- (21) 無線の到達度のチェックのため、平成 22 年度東北大会のロードレースを、リハーサル大会とするよう要望した。

#### ◎閉会式会場について

- (1) 閉会式会場候補の田沢湖スポーツセンター体育館は、県立で使用頻度が高く、予約が大変である。また、床にシートを敷かなければならないので予算計上が大変となる。
- (2) スキーセンター「レラ」はフィニッシュ地点に近く。収容人数も 450 席と余裕があるので、閉会式会場を「レラ」に決定した。
- (3) ステージが小さいので、演台だけをステージ上とし、後はフラットでいく。

#### 6 会場地視察の経費について

一昨年度の奈良までは、会場地視察の交通費、宿泊費はすべて地元実行委員会の負担であったが、沖縄インターハイからは、地元負担の軽減を図るため、各専門部の負担と変わっているため、注意が必要である。